

「主体的なまちづくり」

倉敷商工会議所
会頭 井上 峰一



皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

「随所主作 立處皆真（随所に主となれば、立つところ皆真なり）」。中国・唐の時代、臨済宗を開いた臨済義玄禅師の教えで、私の座右の銘の一つです。環境や立場が変わっても、主体性を持ち自分自身を知っているならば、どんな変化にも存在感を示し、振り回されることはないという意味です。

日本経済のムードは一変しましたが、当地の中小企業にアベノミクスの恩恵は届いていません。当所を退会された会員のほとんどは倒産や廃業です。それでも国の調査によると、管内商工業者は6年間で900事業所近くも増えています。この地は決して下り坂ではなく、新陳代謝が活発化し、新しい時代に適応する必要性が高まっているのです。

そうした状況の中で昨年11月、私は12代倉敷商工会議所会頭に就任しました。スピード感のある組織改革を断行し、事業の革新を考えています。会員だけでなく市民の皆さんにも商工会議所のことを知ってもらい、まちづくりを進めるつもりです。

大原、岡会頭時代には、倉敷チボリ公園撤退、駅北大型商業施設開業という地域を揺るがす出来事がありました。この大きな問題を乗り切るため、両会頭のリーダーシップで中心市街地活性化に取り組み、さまざまな成果を得ました。「倉敷屏風祭」「くらしき朝市『三斎市』」「倉敷フォトミューラル」「林源十郎商店」「奈良萬の小路」…。中心部に新たな魅力を加えて定着し、回遊性の向上に貢献しました。

こうした10年間の蓄積をしっかりと継承し、さら

に新しい価値を付加しなければなりません。諸先輩が築いた輝かしい実績に磨きをかけ、次の世代に渡していくことこそ、私の仕事と思っています。

そして、倉敷には大きな宿題が一つ残っています。JR倉敷駅連続立体交差事業です。いわゆる駅の高架化ですが、長年にわたる懸案事項です。

倉敷警察署管内の総交通事故件数は年間9000件に迫る勢いで年々増え、県内22警察署の中で断トツのワースト1を続けているそうです。物損が多く、倉敷駅周辺の渋滞が大きな要因とみられています。市民と観光客の安全を守り、安心して倉敷のまちを楽しんでいただくためにも、高架化は実現しなければなりません。

さらに倉敷が観光、工業都市から商業、医療福祉にもウイングを広げていく中で、高架化が実現すれば、駅北大型商業施設の集客効果と相まって、都市型産業の集積と雇用が生まれ、定住人口と交流人口の増加も期待できます。

昨年は署名活動をしましたが、商工会議所としては、現在の問題点と高架化のメリットについて、市民にさらに啓蒙するのが基本的立場です。今後、さらに何ができるのか、しっかりと考え、行政とともにやっていきます。

今年には会頭として実質1年目となりますが、臨済禅師の教えを胸に秘め、主体的に地域の商工業発展と安心で元気なまちづくりに取り組み、職責を全うする決意です。皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



副会頭 坂本 万明 副会頭 藤木 達夫
副会頭 伊澤 正信 会頭 井上 峰一 副会頭 山名 一浩

平成26年倉敷商工会議所新年祝賀会を1月8日（水）、倉敷アイビースクエアで開催しました。顧問、参与、報道関係者らを招き、大原名誉会頭、井上・山名・伊澤・藤木・坂本正副会頭をはじめ役員、議員、特別委員、女性会、青年部など114名が出席し、新年への決意を新たにしました。

昨年11月に就任した井上会頭は、今年が当所創立85年になることに触れ「伝統と歴史を感じながらしっかりとやっていきたい」と抱負を述べ、JR倉敷駅の高架化事業については「これは絶対に商工会議所としてもやらなければならない」と力を込めました。

この後、伊東市長の祝辞、叙勲・褒章受章者2名の紹介、退任役員・役員8名の表彰、干支議員8名の紹介と記念品贈呈がありました。難波備中県民局長からは「将来的にはやはり倉敷の玄関、そこをもう少し機能アップしないといけない。それは絶対、みんなが必要と思っている」と力強い言葉をいただき、参加者全員で乾杯した後、和やかに懇談しました。

新年祝賀会

一月八日（水）午後五時より
倉敷アイビースクエアにおいて開催



午年生まれの役員・議員（敬称略）



副会頭	坂本	万明
議員	料治	一夫
〃	大野	彰典
〃	三宅	正之
〃	高倉	鉄之
〃	仁科	良介
〃	守屋	浩之
〃	原	



叙勲・褒章受章者

旭日双光章 三浦 信正 氏（㈱三浦自動車代表取締役会長）
黄綬褒章 妹尾 盛司 氏（妹尾盛司税理士事務所所長）